

葛北支部・活動方針（案）

葛北支部長 厚朴 善太

《活動目標》

1. 支部で、学習・研修会の場の企画づくりを

聴覚障害者の暮らしや社会参加を守り、向上させるためにも支部の各地域協会との連携強化を図り、支部役員と各地域協会に呼びかけて、「モデル要綱」など手話通訳制度の学習会を設けるものとする。

2. モデル要綱について地域協会と共に取り組んでいこう

意志疎通支援事業の派遣「モデル要綱」に沿った手話通訳制度を各市町村行政において浸透し、各市域の格差をなくすよう、地域協会と学習会を開き、行政との交渉を進めるよう働きかけていきたい。

3. さらなる入会拡大をめざそう

平成24年度の最高の会員数（129名）と比べると、葛北支部（111名）では、86%となっている。

また、全日本ろうあ連盟の課されているノルマは身体障害者手帳所有の10%を基準としているので（支部で264人）、各市協会イベントに参加し説明する活動により、これまでの会員を維持しながら、更なる会員拡大を図りたい。

葛北支部では、青年部、女性部、高齢部ら各専門部があるものの、現在は活動がほとんど行われていない状況である。活動運営委員会の青年部、女性部、高齢部との連携で取り組む工夫をしたい。

他支部にも共通する問題であるが、若年層の未入会者が年々増加する傾向にある。若年層の取り込みによる会員拡大はここ数年の課題であり、若年層の目線に立った会員拡大も図っていく。

4. 誰でも参加でき、運動の必要意識を高める企画づくりを

上記の会員拡大目標を達成するために、老若男女が参加できるレクリエーション、また手話通訳ネットワークの必要性を学ぶ学習会の場を設けることによって、会員相互の交流を図り、非会員に対しての入会を勧めるとともに、「集団によるろう運動」の必要性も認識させていく。

5. 第15回手話を考えるフォーラム（平成27年度）を成功させよう。

第15回手話を考えるフォーラム（平成27年11月7・8日開催予定）は葛北支部主管で開催することになっている。平成26年度の耳の日まつりに続く大きなイベントを続けて葛北支部主管で開催することになることから、葛北支部内の各市協会、手話サークル、また全通研地域班等と連携しながら、成功させる様に努める。

6. ろう重複障害者施設建設のための支援活動

千葉県ろう重複障害者施設をつくる会を中心として、資金造成、また啓蒙活動を行っている。また社会福祉法人「千葉県聴覚障害者協会」は地域活動支援センター「らいおん千葉」、「らいおん香取」、「B型らいおん工房」のネットワークづくりの構想を進めており、ケアホームそがの活動を着実に進めている。将来的に葛北地域にも地域活動支援センターを開所する構想があるため、千葉県ろう重複障害者施設をつくる会と連携しながら、葛北地域の潜在的ニーズの掘り起しを図り、また街頭カンパやフリーマーケット参画、チャリティイベント開催等を支援していく。

7. 第38回関東ろう者大会の運営に協力し、成功させよう

2015年10月3・4日に第38回関東ろう者大会が安房館山市において開催されます。支部は地域連携を強化し、大会運営を成功させよう。

《事業計画》

年月日(予定)	事業内容	説明
2015/4/18	支部評議員会	
2015/7/26	フリーマーケット参画(未定)	ろう重複施設建設資金造成、又葛北支部活動資金の確保を目的として行う
2015/6/21	支部学習会(義務企画として)	未定
2015/6~7	第33回東葛飾地区ろうあ者ソフトボール大会(船橋市)	2015年度は総武支部主管。
2015/11/7.8	第15回手話を考えるフォーラム	会員相互の交流、会員拡大を目的として開催する
2015/10~2016/2	臨時評議員会	次期役員(H28~31年度)の改選
2015/11/中旬	社会見学(任意学習会)	会員相互の交流、会員拡大を目的として行う。
2016/2/21or28	第6回葛北杯ボーリング交流会	会員相互の交流、会員拡大を目的として行う。